

令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名

加古川市立加古川小学校

1 教育目標 健康で豊かな心をもち、自ら学び続ける子どもの育成

2 基本方針

- ・子どもたちにとって・・・学校は「未来を生きる礎を学ぶ場」であること
- ・保護者にとって・・・学校は「安定・安心・安全な信頼できる場」であること
- ・教職員にとって・・・学校は「働きがいを感じられる場」であること
- ・地域にとって・・・学校は「まちづくりの拠点となる場」であること

3 指導目標

1. 「確かな学力」の育成
2. 「豊かな心」の育成
3. 「健やかな体」の育成
4. キャリア教育の推進
5. 信頼される教師としての資質向上
6. 家庭、地域との連携

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
「確かな学力」の育成	「そろえる」教育から「伸ばす」教育への転換をめざし、子どもに委ねる学びの推進と自己調整力の育成を図る。探究的な学びの場やことばの力を高める活動、個々のニーズに応じた特別支援教育の充実を図る。	B	ICTの活用による個別最適な学びと、授業力向上のための校内研修を進めます。卒業時の目指す姿を共有し、長期的視点で指導を行い、事前事後学習を重視した体験活動の充実を図ります。
「豊かな心」の育成	安全で居心地の良い学校・学年・学級づくりの推進をめざし、道徳の時間を要とした、自他の命・気持ちを大切に教育や読書活動の推進を図る。あわせて、ふるさと意識の醸成をめざす。	B	ペア活動のさらなる充実として十分な時間の確保や活動内容の拡大を図り、交流を深めます。自他を大切にする意識を高めるために「あいさつ」など、日常の言動から相手意識を持たせます。
「健やかな体」の育成	心と体を自ら整える活動の充実と自己調整力の育成をめざし、実生活に生きる安全・防災教育の徹底、給食を生きた教材とした食育指導の充実を図る。	A	様々な場面を想定した避難訓練を行い、自助・共助の意識を持たせます。委員会活動による外遊びや食育の推進を図ります。
キャリア教育の推進	体験活動の充実や学校間連携を促進し、「兵庫県版キャリア・パスポート」を積極的に活用することで非認知能力の育成を図る。	B	校内での進捗確認や活用促進を図るとともに、事前事後学習では「将来に役立つ視点」を明確にし、児童の思考を深めます。
信頼される教師としての資質向上	研修機会の充実による専門性と実践的指導力の向上を図るとともに同僚性豊かな教師づくりをめざし、業務プロセスの見直し等による働き方改革の推進を行う。	B	校内研修を充実させ、指導力向上に努めます。また、担当者ごとの校外研修の内容を校内で共有し、学校全体としての資質向上を図ります。
家庭、地域との連携	ブログやHP、かこがわっ子チャンネル等の充実による「学校の見える化」を図り、学校運営協議会を中心とした開かれた学校や地域総がかり教育の推進を行う。	A	ブログやHPの充実を今後も推進し、学校の様子を適時、周知し、家庭や地域との共有を図ります。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
学ぶ意欲の向上に向け、児童の関心を高める工夫や学びと、将来への繋がりを意識させる取り組みを期待する。体験活動の充実と授業時数の確保の両立をお願いしたい。	B
児童が主体的にペア活動できる環境を今後も整えてほしい。地域でも元気に挨拶をする姿が見られるが、受け身での挨拶が多いので、進んで挨拶する姿勢が身につくことを期待する。	B
校内での安全教育を発展し、交通ルールやマナーに対する指導の徹底を今後も期待する。	A
外部講師による出前授業を今後も継続し、子どもたちが将来の夢を持ちやすい環境を提供し続けてほしい。	B
キャリアステージに合わせた研修の取り組みをおこない、OJT研修を進め、継続して資質向上を図ってほしい。	B
「開かれた学校」や保護者との連携にデジタル機器を有効的に活用し、さらなる進化を期待する。	A